

学校 教育 目標	自ら学び ともに考え 行動する台小の子 「知」学ぶ楽しさを知り、学び続ける力を育てます 「徳」自分を大切にし、人を思いやる心を育てます 「体」命を大切にすると、たくましく生きる力を育てます 「公」まちとふれあい、まちを大切にすると態度を育てます 「開」様々なことに関心をもち、進んでチャレンジする意欲を育てます					
	学校 概要	創立 44 周年	学校長 滝本 俊一	副校長 薄田 秀明	2 学期制	一般学級：8 個別支援学級：2 児童生徒数： 253 人 主な関係校：六つ川中学校、六つ川小学校、六つ川西小学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「自立のための基礎力」 ・創造する力 計画力 発信力・傾聴力 思考力 判断力 ・やりとげる力 主体性 実行力 規律性 協力性	六つ川中学校 六つ川小学校 六つ川西小学校 六つ川台小学校	「自立のための基礎力」の育成 ・小中一貫ブロック学校運営協議会における、3つの推進部会の組織的推進。 ・自立のための基礎力を視点においた協議。 ・小中で協議した内容の具現化。

中期 取組 目標	○子ども一人一人にしっかりと向き合いながら、地域とともに歩む学校づくりを推進します。
	・学ぶことの意義や楽しさを知り、自ら学ぼうとする力を育てます。 ・積極的に人と関わり、協働しようとする意欲を育てます。 ・主体的に行動し、積極的に地域と関わろうとする態度を育てます。 ・家庭や地域、関係諸機関と連携を深め、開かれた学校づくりを進めます。

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	①一人一人が自分の考えをもち、互いに認め合い高め合えるようにするとともに、スキル学習の充実を図り、基礎基本の定着を目指す。②「教科等横断的に育成を目指す資質・能力」読書活動を啓発し、語感を高め、自己を豊かに表現できる子を育成する。
担当 重点研推進委員会	
豊かな心	①学校生活全般を通して、一人一人のよさを認め、自己肯定感を高める。②あいさつ運動を通して、気持ちのよい挨拶や、礼儀正しい態度を学び、思いやりや感謝の心をもつ子を育成する。③人権委員会での取り組みを通して、人権意識の向上に努め、誰もが安心して過ごせる学校を目指す。
担当 道徳部・人権教育部	
健やかな体	①「台小体カアッププロジェクト」の運動集会を通じて、児童が運動の楽しさを味わい、外遊びを盛んにしたり、体力の向上に目を向けたりするように心がける。②学校保健委員会での清掃についての活動を通して、生活環境に対する関心を高め、清潔な環境で生活するよさを実感できる子の育成を図る。
担当 体育部・保健安全部	
特別支援教育	①校内委員会の設置、校内研修の実施等、校内支援体制を整え、配慮の必要な児童に対しての共通理解を図る。②学習環境の整備を行い、フロントゼロや掲示資料のユニバーサルデザイン化を進める。
担当 特別支援委員会	
児童生徒指導	①「六つ川台小スタンダード」の定着に向け、家庭への冊子配付や各学級での指導ファイル作成など、指導環境を整えるとともに、適時会議をもち、内容の加筆や修正を行う。②児童理解についての情報交換の場を設定し、職員全体で指導にあたる。
担当 児童理解委員会	
地域連携・ 学校運営協議会	①学校説明会、懇談会、まち懇等の機会に、学校経営方針や目指すべき児童の姿等を説明し、学校への理解を深める。②地域行事に積極的に参加し、保護者や地域の方々と交流を深める。③学校ホームページを活用、発信し、学校の活動を周知できるよう努める。
担当 教務部	
担当	
担当	
いじめへの対応	①毎月「いじめ防止対策委員会」を設け、認知された案件の経過を丁寧に確認するとともに、未然防止、再発防止に努める。②教職員の研修を通じて、いじめに対する教職員のアンテナを高くする。③年3回のアンケートを行い、児童や学級風土の変化を見逃さない体制をつくる。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①5年次以下の教諭を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが推進役となって互いに授業公開をし、板書や発問等の指導技術の向上を図る。②教務会を定期的実施し、計画的な学校経営や行事推進に努める。③職務の外部委託や職員室アシスタントとの業務連携など、職員の作業の簡便化・効率化を図り、働き方改革につなげる。
担当 教務部・メンターチーム	